Information
No.2026-66　Date 2026.11.
BML

新規受託項目

謹啓　時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。
謹白

記

項 目 名

- BKウイルス核酸定量-血漿　（依頼コード No.14243）
- BKウイルス核酸定量-尿　（依頼コード No.14244）

受託開始日　2026年12月1日(火) ご依頼分より

BKウイルス(以下、BKV)は小児期に不顕性感染し、腎泌尿器系の細胞に潜伏感染するポリオーマウイルス科のウイルスで、臓器移植や造血細胞移植後の免疫抑制状態の患者で再活性化することが知られています。腎移植ではBKV腎症による移植腎の機能低下･喪失、造血幹細胞移植ではウイルス性出血性膀胱炎を引き起こすことがあるため、移植後に血漿中や尿中のBKV DNAを検出することはBKV感染の診断補助に有用です。
また、現在、BKVに対する特異的な抗ウイルス薬は存在せず、腎移植後のBKV腎症の治療は免疫抑制剤の減量が中心のため、BKV DNA量の測定は治療方針の検討にも重要となります。
このたび、WHO国際標準品に基づき値付けされた体外診断用医薬品が薬事承認され、当該試薬を用いたBKV核酸定量検査が保険適用となりました。これに伴い、血漿中または尿中のBKV DNA量を測定する検査の受託を開始いたします。

次ページに続きます

株式会社 ビー・エム・エル
本　　社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3
総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市的場1361-1
☎ 03(6629)7386　FAX 049(232)3132

検査項目検索用アプリ B-Book
Google play　Available on the App Store
電子カルテはビー・エム・エル
Qualis Cloud

受託要領

依頼コードNo.	14243	14244
検査項目名	BKV核酸定量-血漿	BKV核酸定量-尿
JLAC10コード	5F825-1441-022-862	5F825-1441-001-862
検体必要量	血漿 1.5mL	尿 4.5～6.3mL
容器	B-26	CT/NG PCR-U
検体の保存方法	冷蔵（開封厳禁）	室温（開封厳禁）
所要日数	3～9	
検査方法	リアルタイムPCR法	
基準値	検出せず	
単位	IU/mL	
報告範囲	検出せず <21.5+ 21.5～99.9 100～99900000 1億 1億超	検出せず <200+ 200～99900000 1億 1億超
検査実施料/判断料	450点/150点（微生物学的検査） BKウイルス核酸定量は、血漿又は尿を検体として、臓器移植又は造血細胞移植を行った患者のうち以下の ア から エ までのいずれかに該当する患者に対して実施した場合に450点を算定する。ただし、診療報酬の請求に当たっては、実施する患者について以下の ア から エ までのいずれに該当するかを診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。 ア 尿中ウイルス感染細胞の検出又は腎機能の低下等によりBKV腎症を疑う患者 イ 血尿等の所見により出血性膀胱炎を疑う患者 ウ BKV感染症と診断され治療を開始されており、治療効果の確認が必要な患者 エ 拒絶反応又は移植片対宿主病（GVHD）に対する治療を実施し、BKV活性化の評価が必要な患者	
備考	・汚染の影響を受けやすい検査法のため、他項目との重複依頼は避けて単独検体でご提出ください。 ・血漿検体の場合は、採血後、全血を2～25℃で24時間以内に遠心して血漿を分離してください。 ・尿検体の場合は、採尿後、速やかに規定の量を専用容器に移してください。専用容器以外では検査できません。	

【参考文献】

日本造血細胞移植学会:造血細胞移植ガイドライン ウイルス感染症の予防と治療-出血性膀胱炎, 2018.

BKV核酸定量の結果表示

〈血漿〉

増幅反応シグナルを検出しなかった場合	検出せず
21.5 IU/mL（定量下限値）未満で、 増幅反応シグナルを検出した場合	<21.5+
測定範囲内で結果を得た場合	21.5～99900000、1億
1億 IU/mL（定量上限値）を超えた場合	1億超

〈尿〉

増幅反応シグナルを検出しなかった場合	検出せず
200 IU/mL（定量下限値）未満で、 増幅反応シグナルを検出した場合	<200+
測定範囲内で結果を得た場合	200～99900000、1億
1億 IU/mL（定量上限値）を超えた場合	1億超